

International Theatre Institute ITI

World Organization for the Performing Arts



International Dance Day 2026 – 29 April

インターナショナル・ダンス・デイ 2026年4月29日

クリスタル・パイト (振付家/カナダ)

Crystal PITE

クリスタル・パイトは、カナダの振付家。バレエ・ブリティッシュ・コロンビアおよびウィリアム・フォーサイス時代のフランクフルト・バレエ団出身。

35年にわたる振付家としてのキャリアの中で、パイトは、英国ロイヤル・バレエ団、ネザーランド・ダンス・シアター、パリ・オペラ座バレエ、カナダ国立バレエ団などのために60作を超える作品を創作。トラウマ、依存、対立、意識、死といった主題に果敢に取り組む創作で知られており、その大胆で独創的なヴィジョンは国際的な称賛を集め、ダンス・アーティストの一世代を代表する存在となる。

ネザーランド・ダンス・シアター、サドラーズ・ウェルズ劇場、そしてカナダ国立芸術センターの3つの機関でアソシエイト・アーティストを務める。また、サイモン・フレーザー大学からの名誉美術博士号の授与のほか、カナダ勲章およびフランス芸術文化勲章オフィシエを受章。

2002年、バンクーバーでキッドピボットを設立。普遍的な問いを凝縮し、翻訳することを試み、人間性の本質的な部分へと結びつける作品を目指す。ダンスと演劇のラディカルな融合で世界的に知られ、ジョナサン・ヤングとの共同創作による『ベトロフェンハイト』『リヴァイザー/検察官』『アセンブリー・ホール』のほか、『テンペスト・レプリカ』『ダーク・マターズ』『ロスト・アクション』『ザ・ユー・ショー』といった批評家から高く評価された作品を携えて、世界ツアーをおこなっている。

2022年のカナダ総督舞台芸術賞、2011年のジェイコブズ・ピロー・ダンス賞、そしてカナダ芸術評議会の2012年ジャクリーヌ・ルミュー賞など数多く受賞。2017年、パリ・オペラ座バレエでの作品『シーズンズ・カノン』によりブノワ賞(ブノワ・ド・ラ・ダンス賞)受賞。2018年、モントリオール舞踊グランプリ受賞。また、キッドピボットや英国ロイヤル・バレエ団での創作などにより、ローレンス・オリヴィエ賞を5度受賞。

(翻訳 萩野哲矢)

Translation : Ogino Tetsuya